

高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例施行規則の一部を改正する規則新旧対照表

改正後			改正前		
別表第3（第36条関係）			別表第3（第36条関係）		
項目	測定方法	算定方法	項目	測定方法	算定方法
清流度	<p>1 測定は、降雨後4日以上を経過し、水質が安定している日を選び、直射日光を避けながら、水深0.3メートルから1.0メートルまでの平瀬で行う。</p> <p>2 測定は、2人で行い、1人は、ブラックディスク（直径20センチメートルの円板の表面をつや消しの黒で塗り、持ち手を取り付けたものとする。以下同じ。）を水面に垂直になるように水中に入れ、水平に移動させる。もう1人は、清流度計（内側をつや消しの黒で塗り、側面の窓は透明なアクリル樹脂板で、水中を水平方向に見るため内部に窓から45度の角度で鏡を設置したものとする。以下同じ。）で水中のブラックディスクを<u>目視し、又はビデオカメラその他の撮影機器（以下「ビデオカメラ等」という。）を用いて撮影した水中のブラックディスクの映像をタブレット端末等により現場で確認し、これらが見えなくなるときの清流度計又はビデオカメラ等とブラックディスクとの間の水平距離を測定する。</u></p>	略	清流度	<p>1 測定は、降雨後4日以上を経過し、水質が安定している日を選び、直射日光を避けながら、水深0.3メートルから1.0メートルまでの平瀬で行う。</p> <p>2 測定は、2人で行い、1人は、ブラックディスク（直径20センチメートルの円板の表面をつや消しの黒で塗り、持ち手を取り付けたものとする。以下同じ。）を水面に垂直になるように水中に入れ、水平に移動させる。もう1人は、清流度計（内側をつや消しの黒で塗り、側面の窓は透明なアクリル樹脂板で、水中を水平方向に見るため内部に窓から45度の角度で鏡を設置したものとする。以下同じ。）で水中のブラックディスクを<u>目視し、これが見えなくなるときの清流度計とブラックディスクとの間の水平距離を測定する。</u></p>	略